

國造神社だより No.30

発行元：國造神社総代会広報 2015. 10. 28

菅原神社の秋祭り、約80人が参拝



菅原神社の秋祭りは10月25、26日行われ、約80人の氏子の皆さま＝写真上＝がお参りされました。約250人が参拝した國造神社の秋祭りに比べ、3分の1の人出です。國造神社の氏子は約1600世帯なので、菅原神社にお参りする人は全世帯の約5%です。金沢市内の菅原神社は石川県神社庁の登録で8社にのぼり、県全体でも82社と多く、明治39（1906）年に國造神社に合祀された当菅原神社は余り知名度が高くないせいもあり、参拝者の少ないのが気懸りです。それでも、この地に学問の神様である菅原道真を祭って100年の歴史を持ち、地域の人たちによって「天神さん」は大切に守られてきました。ただ世話人としては、お祭りの時にもう少し賑わいが創出できないかという思いがあり、菅原神社にもっと皆さんの関心が集まる手立てがないか知恵を絞っています。

町会総交代 泉本町なごみ会神社総代の泉政勝さんが病氣治療のため退任され、新たに室崎安雄さん（泉本町3丁目）が就任しました。泉さんは平成25年から2年半余り務められ、その間、本業を生かして社務所の小屋根や側壁のペンキ塗り替えなどに奉仕され、財源難の神社を助けてくれました。秋祭り初日の25日、神社から感謝状が贈られました。早く本復されることを祈っています。

今年の収穫に感謝する新嘗祭を12月13日午前11時から行います。

ホタルの里その後 泉ホテルの里づくりの一環として神社総代の松村初男さん（泉本町同心会）から頂いたホタルの餌となるカワニナ15個を10月8日に放流＝写真左下＝



したところ、2週間後も5体が確認（残りは不明）され、繁殖に望みが出ました。このため、泉誠交会では近く金沢市に神社下手の水域にカワニナの住みかとなるブロックを置く法定外公共物使用許可申請を出すとともに、ビオトープとなる湛水施設の設置を要望することになりました。